

## 産業新聞

2013年(平成25年)11月12日(火曜日)



導入したLPGバイフューエル車と同型のハイエース

愛知県清須市の  
業務用製パン業者

発生時

### 食材供給拠点化も視野

# LPガスバイフューエル車導入

愛知県清須市で業務用パンの製造・卸売を営むエースベーキング(吉田哲也社長)は、経済産業省の災害対策補助事業を利用して、LPGバイフューエル仕様のハイエース(トヨタ製ワンボックス型貨物車)を1台導入、10月末から稼働を開始した。

### 非常時の機動力を評価

同社は業務用パンの製造・卸売を営んでおり、今回導入したLPGバイフューエル車は本社を中

営業用車両費のコストダウンと、環境への配慮による地域貢献、災害対策が目的。

車両費のコストダウンについては、販売管理費に占める車両費の割合が高く、現在のガソリン、軽油価格の状況から、今後の車両費の比率増加が予想されることから、燃料費が安いオートガス利用に切り替えることでコストダウンを図ろうというもの。

環境への配慮による地域貢献と災害対策については、納税や雇用、地域のイベントへの参加だけでなく、地域の環境に配慮した車両を使用することでの貢献、さらに災害発生時に自社の食品在庫の提供と、その運搬手段として災害発生等の非常時における燃料確保などの点でLPGバイフューエル車の有効性を評価し

ての導入となった。同社では現在39台の営業用車両を保有し、うち27台が今回導入したLPG

### 行政支援に期待

地元市議が視察

また、これらの動きについて10月29日、清須市議会・林真子議員と、名古屋市長会・沢田晃一議員が同社を訪問。吉田昌容取締役営業本部長から、地域貢献への取り組みとLPG車導入について説明を受け、独自開発した5年間保存が可能な

Gバイフューエル車と同じハイエースのディーゼル仕様車。今後は本社内に簡易オートガススタンド設備を設置し、本社配属車を中心にLPGバイフューエル車に置き換えていく方針でいるほか、パン焼成窯のLPGガス化とLPGガス発電機の設置を検討している。



林真子議員と沢田晃一議員が訪問、活発に意見交換

視察後、地元市議である林議員は「地元にいる企業があるのは非常に心強い。行政も、このような取り組みを行う企業に積極的な支援を行うべきでは」と語り、隣接する名古屋市長会である沢田議員は「私も、林議員と同意見。市外になることから名古屋からの支援は難しいと思うが、万が一のことを考えると、このような考え方の企業を支援する必要があると思う」と感想を述べている。